高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 家庭 科目 家庭基礎

科 目: 家庭基礎 単位数: 2 単位 教 科: 家庭

対象学年組:第 2 学年 A 組~ H 組

使用教科書: (家庭基礎 東京書籍

教科 家庭

実践的体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、社会の構築に向けて、協力し主体的に生活を想像する資質能力を育成することを目指す。
【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし課題設定し、解決策を構想し、実践を 評価改善し、考察したことを根拠に基づき理論的に表現する等して課題を解決する力を身に付けている。

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり 【学びに向かう力、人間性等】して地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしてい

科目 家庭基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境な	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における 生活の中から問題を見いだし課題設定し、解決 策を構想し、実践を評価改善し、考察したこと を根拠に基づき理論的に表現する等して課題を 解決する力を身に付けている。	けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振 り返って改善したりして地域社会に参画しよう

単元の具体的な指導		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
人生解り 大生の 大生の 大生の 大生の 大生の 大生の 大生の 大生の	こし生 か段顕浅とす養生りのこっ め、意に 等計をををるう等よ生主で地に生思つ 】に設評根な 】い活体改善の践涯決い つ定 拠ど 社設的善の践	人生をつくる 家族家庭を見つめる これからの家庭生活と社会	【知識・技能】 青年期の課題を解決するとともに、多様な生 きなり、家庭生活の現状や課題について必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 男女を画社会におけるこれからの家族の在もり方について思考を深め、論理的に表現することがでいる。 とさいてとまったがでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	6
【知識を主という。 生活もという。 生活を主という。 とにではけったない。 とにもでいるでは、名 とにもでいるでは、名 とにもできる。 、発達を社といる。 は思さも、系達を社に、 をでいるでは、 ののをでする。 に生むですり、健体でいる解析では、 ののをでする。 ののをでする。 に生るでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 にして、 ののでは、 にして、 ののでは、 にして、 ののとに、 ののとに、 ののとに、 ののとに、 ののとに、 ののとに、 にして、 ののとに、 ののとに、 ののとに、 にして、 ののとに、 にして、 に	こ 遊ら	命を育む 子どもの育つ力を知る これからの保育環境	【知識・技能】 乳幼児の心身の発達と親の役割と保育及び福祉についつ身体を連興をしている 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために親や家族及び思考を終め、論理的に表現することができる 【主体的に学と生活について、ことを反び地域やは、の保育と生活について、ことを及び地は主体に取り組み、取り組分や家族のとして、となるであります。 課題に進んで取り組み いたこと とを 振り 地 ている	0	0	0	12

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
ホー知識及が技能】 ホー知識及び技能】 ホームで放射。 ボームで対能より下させ、 東は、 東は、 大法につい、判断力、の意義と 事故の題を設定が、 事故の題を設定が、 東は、 とでは、 までは、 は、 に、とび、 をはい、 とでは、 は、 に、 に、 をはい、 に、 をはい、 に、 に、 をはい、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	・生活に生かそう	【知識・技能】ホームプロジェクトについて意義と実践方法にカンプロジェクトについて意義と実践方法について理解している。 実践を評価、改善に表現している。 実践を評価、改善に表現できるとを根拠に基づいて理論的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】課題の解決に主体に取り組み、取り組んだことを振り返って改善力るなどして、とを振り返って改善力るなどして、とを振り返って改善力のよとめに実践しまうとしている。 課題に進んで取り組み期日までに提出している	0	0	0	6
食生活をできなど、 食生活をでしています。 食生活をできないます。 食生活をできないます。 食生活をできないます。 食性が関ラーでは、 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をしています。 をはいまする。 をはいまする。 をはいまする。 をはいまする。 をはいまる。 をはいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	・食生活の課題について考える ・食品の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活	【知識・技能】 栄養、食品、調理、食品衛生などについて理解し、家族の食生活を健康で安全に営むために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている 【思考・判断・表現】自分の食生活の課題を見つけ、解決策を構想し、思考を深め、論理的に表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な社会に向けて、健康や環境に配慮した食生活について主体的に考え、、課題の解決に主体に取り組み、正りとを振り返って改善するなどして、自分や家族及び地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している	0	0	0	14
京生活をで見る。 「本生活をでした。 「本生活を取なて理解した。 「本生活を取れなで理解した。 「大生のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・衣服の役割を考える ・衣服を入手する ・衣服を管理する ・衣服の文化と知恵 ・これからの衣服	【知識・技能】 家庭の衣生活を健康で快適に営むために必要な基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けている 【思考・判断・表現】 自分や家族の衣生活について課題を見つけ、解決策を構想し思考を深めている 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活と健康でついて主体書かるなどして、成り組んだことを振り返って改者でして、などして、分や家族及び地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している	0	0	0	6
経済を営む 【家として、	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・これからの経済生活	【知識・技能】家計の構造や生活における経済と社会のかかわり、家計管理について理解している【思考・判断・表現】生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について思考を深めている【主体的に学習に取りまむ・主体との構築に向けて、消費行動と意思決定について課題の解決に主体に動り組み、取り組んだことを振り地域の生活でありまっるなどして、自実践日までに提出している。課題に進んで取り組み期日までに提出している	0	0	0	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後期	超高触社会だな。	 ・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢期の心身の特徴 ・これからの超高齢社会 	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会 鑑賞、自立生活の支援や介護について理解している 【思考・判断・表現】高齢者の自立生活を支えるために、家族や地 域、域社会の果たす役割の重要性について思 考を深め、論理に表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期の生活と福祉について、主体的に考 え、取り組んだことを振り返って改善するな として、取り組みだとを振り返って改善するな として、取り組みだまりとしている。課題に進 んで取り組み期日までに提出している。	0	0	0	10
	共に生き共びたます。 「知識及で対応として関連実とする」 「知識及で対応となる」 「高齢が表にしているのでである。」 「高齢が表にしているのでである。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「表になります。 「なります。 「なります。 「なります。 「なります。 「なります。 「なります。 「なります。 「なります。 「ないなります。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「ないない。 「はいない。 「ないないないない。 「ないないないないないないないない。 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる	【知識・技能】 高齢者や障害のある人など様々な人が共に支えを命って生きることへの意義について必る 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持ち、様々な人々との関わり方について課題を見つけ、解決策を構想し、思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について課題が戻って、世別組み、取り組んだことを振り返って改善するなどして、はり組みがことを振り返って改善するなどして、自い実践びとしている。課題に進んで取り組み期日までに提出している	0	0	0	6
	住生生活をなます。 「住生活をないな能」 日本人 ととと 日本人 日本人 日本人 日本人 日本人 日本人 日本人 日本人	・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・これからの住生活	【知識・技能】 住居の機能、住生活と健康安全について理解し、家族の住生活を健康で安全かつ快適に営むために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている 【思考・判断・表現】自分や家族の住生活について課題を見つけ、解決策を構想し、思考を深めている。【主体的に学習に取り組む態度】住生活と住環境について課題の解決に主体に取り組み、取り組んだことを振り返ってて改善するなどして、自分や家族及が地域の生活の両上を図るために実践しまって、提出している	0	0	0	6
							78